



市民ネットワーク北海道 議会レポート 北広島版

発行/市民ネットワーク北海道 〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目15-1 サラサビル4F
TEL011-219-0112 FAX011-219-0113 ●ホームページ <https://snet21.jp/>



北広島市議会議員
鶴谷さとみ



北広島市議会議員
佐々木ゆりか

介護の社会化はどこに？ ～保険料を払っても、ますます使えないサービスに～

2000年から始まった介護保険制度は、これまでに5回の大きな改定を経て、20年になります。現在、国の社会保障審議会では、2021年の次期改定に向け、要介護1・2の「訪問介護の生活援助」と「通所介護」を介護保険から外し、自治体の地域支援事業へ移行することを検討しています。また、利用料2～3割負担対象者の拡大やケアプランの有料化、高額介護サービス費の利用者負担限度額の引き上げなどが検討され、これが現実となれば介護保険制度は「要介護3からの重度中心型」となり、当初掲げた「介護の社会化」からはほど遠いものになっていきます。

北広島市の2019年の要介護認定者数は3,273人(3月末)です。このうち、要介護1の方は884人(27%)、要介護2の方は483人(約15%)と全体の約4割を占めています。地域支援事業へ移行した場合、報酬が低いことから介護予防から撤退する事業者が増え、希望通りにサービスを受けられない恐れがあります。「介護離職」や負担増による利用控えなども懸念されます。また、在宅での生活を支えてきたNPOなどの小さな事業者の多くは厳しい運営となることが予想されます。安心して利用できる持続可能な介護制度となるよう、改定に対し、市民から声をあげることが必要です。



▲介護保険制度の改定に向けて、北広島駅前街頭署名を行いました。(10月14日)

▼ポールパーク・アクセス道路について、北海道公共事業評価専門委員からの厳しい付帯意見に関し、市の見解をたどりました。また、何かあった時に工事を中断・中止するため、監視する委員会の設置が検討されていたことを指摘し、環境への影響の低減を求めました。

▼ポールパーク予定地に隣接する特別天然記念物野幌原始林について、保存活用計画の策定時に改めて生き物の調査をしよう求めました。

北広島市の自然について

▼自治会と市のパートナーシップ協定による排雪事業は補助基準額が改定され、緩和措置が終了する2021年4月以降は自治会の排雪費負担が増加します。自治会の財政上、十分な排雪が難しい場合には拡幅除雪や自治会からの相談に細やかに対応するよう求めました。

▼安心して暮らせるまちづくり
自治会と市のパートナーシップ協定による排雪事業は補助基準額が改定され、緩和措置が終了する2021年4月以降は自治会の排雪費負担が増加します。自治会の財政上、十分な排雪が難しい場合には拡幅除雪や自治会からの相談に細やかに対応するよう求めました。



佐々木ゆりか

第3回定例会では、ポールパーク・アクセス道路の整備に伴う道路用地及び、特別天然記念物追加指定に係る用地取得経費などが提案され、6億1千553万円の一般会計補正予算を含む議案22件、同意案4件を可決。市民ネットワークが提案した「すべてのゲノム編集食品の規制と表示を求める意見書」、「生態系への影響が指摘されているネオニコチノイド系農薬の規制を求める意見書」を含め、5件の意見書案が可決。2018年度各会計歳入歳出決算認定、水道事業会計剰余金処分及び決算認定は、決算審査特別委員会に付託されました。

鶴谷さとみ

▼子どもの権利に関する施策の推進
自宅に固定電話がない世帯が増えていることから、すべての子どもが思い立った時に相談できるよう、相談体制の拡充を求めました。

▼子どもの生活実態を踏まえた支援
不登校、ひきこもりの状況の、中学生、高校生世代の子どものいる家庭への支援について、子ども、保護者それぞれが悩みを抱え込んで孤立しない取り組みを求めました。



▲市民ネットワークの提案で、小中学生に配布された「子どもの権利」のPRグッズ。(2018年度)

▼居場所づくりについて、市役所庁舎5階の展望ロビーでは、自習等で訪れる中高生が増えている。市民サービスの拡大として展望ロビーの開放時間の延長に向け、見直しを求めました。

2020年度予算編成に向けて 「こんな北広島に 暮らしたい」 政策提案を提出



市民ネットワークでは毎年、新年度予算編成に向けて政策提案を提出しています。今年も上野市長と懇談し、直接手渡すことができました。「子どもへの暴力防止プログラム(GAP)の小学校への導入」「災害時の避難所備品にプライバシーを守る仕切りやテント等の整備」「脱プラスチックの取り組み」など重点項目6項目と福祉、教育、子育て、環境など8分野71項目の要望・提案をしました。(10月28日 市庁舎にて)

●新給食センターは災害時、炊き出しが可能な施設。炊き出しに必要な人員の確保、強化磁器食器の導入を要望しました。

●児童館のない地域での放課後の子ども居場所づくりに向け、児童館の早期設置や民間との協働による居場所の開設などを要望しました。

佐々木ゆりか

●中学校の制服について、多様性やアレルギーへの配慮の視点から、女子もスラックスを選択できるなどの「ボーダーレス制服」の導入を提案しました。

鶴谷さとみ

●昨年9月の台風21号及び北海道胆振東部地震による被災者支援について、再建の状況に応じ、みなし仮設住宅の供与期間の延長を要望しました。

2019年
9月 北広島市議会報告 一般質問

6月 北広島市議会報告 一般質問